

平成26年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		安全で安全に暮らせるまち					
環境保全項目		さわやかな空気と静けさを確保する					
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
1-1		光化学オキシダント環境基準達成状況	さわやかな空気と静けさを確保する	大気汚染の防止	光化学オキシダント環境基準達成状況	光化学オキシダント環境基準達成状況を公表する。基準超過日45日	生活環境課
1-1		一般地域における騒音調査及び測定(一般地域騒音環境基準達成度)	さわやかな空気と静けさを確保する	騒音・振動・悪臭の防止	一般地域における騒音調査及び測定	一般環境について、市内11地点の騒音を調査測定し、騒音の状況を調査する。環境基準達成率90%以上	生活環境課
1-1		道路交通騒音調査及び測定(道路騒音環境基準達成度)	さわやかな空気と静けさを確保する	騒音・振動・悪臭の防止	道路騒音の常時監視における騒音調査を実施する。	測定を100%実施する。	生活環境課
1-1		市営駐車場の管理運営	環境にやさしい都市基盤・都市施設の整備	パークアンドライドを促進します。	快適に利用できる駐車場の管理運営	市営駐車場駐車台数 年 310,000台	管理課
1-1		大気汚染環境基準達成度の公表	さわやかな空気と静けさを確保する	大気汚染の防止	大気汚染環境基準達成度の公表	環境基準達成 100%	生活環境課
1-1		新幹線鉄道騒音調査及び測定(新幹線鉄道騒音環境基準達成度)	さわやかな空気と静けさを確保する	騒音・振動・悪臭の防止	新幹線鉄道の騒音・振動について調査、測定を実施。測定予定ヶ所2地点(下堀地区)	100%実施する。	生活環境課
1-1		循環バス運行施策	1 きれいな空気の確保 1 環境にやさしい都市基盤・都市施設の整備	15 公共交通機関であるバスの利用促進を図り、自家用車の使用を軽減させます。	「上田市循環バス」と「オレンジバス」の利用者が増加するよう施策を検討し、利用啓発活動を行う。	循環バス等利用者 目標60,000人	地域交通政策課

環境基本計画基本目標		安全で安全に暮らせるまち					
環境保全項目		きれいな水と安全な土壌を確保する					
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
1-2		合併処理浄化槽設置整備事業(合併処理浄化槽設置整備事業実施基数)	きれいな水と安全な土壌を確保する	水質汚濁の低減	申請に対する補助金の交付	合併処理浄化槽設置整備事業での新設7基	生活環境課
1-2		河川水質調査及び検査(主要河川のBOD環境基準値達成度)	きれいな水と安全な土壌を確保する	水質汚濁の低減	市内河川の調査地点について、河川の状況を把握するため水質調査を実施する。この結果は、環境レポート等で公表していく。	毎月市内主要河川の水質検査を実施し、計35地点の検査により水質監視する。	生活環境課
1-2		地下水水質調査及び検査(地下水環境基準達成度)	きれいな水と安全な土壌を確保する	地下水汚染の防止	市内の地下水(井戸水)について、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素を含む水質検査を実施する。	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の基準値達成。	生活環境課
1-2		地下水水質調査及び検査(地下水質低沸点有機塩素系化学物質の基準値達成度)	きれいな水と安全な土壌を確保する	地下水汚染の防止	市内12地点の地下水(井戸水)について、年一回低沸点有機塩素系化学物質(トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン)を含む項目を調査。	低沸点有機塩素系化学物質(トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン)の環境基準値の達成。	生活環境課

環境基本計画基本目標		安全で安全に暮らせるまち					
環境保全項目		きれいな水と安全な土壌を確保する					
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
1-2		下水道の普及促進	きれいな水の確保	公共下水道事業、農業集落排水事業等を推進します	<ul style="list-style-type: none"> <li>取付管立会い時の啓発(随時)</li> <li>戸別訪問の実施(通年)</li> <li>下水道未接続者に対する啓発文書発送</li> </ul>	水洗化率 ・平成25年度末の下水道水洗化(利用)率を88.7%に向上させる。 確認申請件数 ・615件を目標とする。	サービス課
1-2		鉛給水管布設替え	有害化学物質による汚染を未然に防止する	鉛給水管の解消	鉛給水管布設替 計画修繕対応 420件 故障修繕対応 80件 水道本管工事対応 件 計 500件		上水道課
1-2		公共下水道事業、農業集落排水事業	きれいな水と安全な土壌を確保	公共下水道事業、農業集落排水事業を推進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>管きよ整備 L=2.9km</li> </ul>	・普及率97.3%(上田地域74.9%)	下水道課
1-2		浄水場運転管理	安心、安全な水道水の提供	環境に配慮した浄水場管理	①浄水場、施設における消毒剤の適正な注入 ②需要量に見合った適正な取水量管理 ③浄水場泥土の適正な処理処分委託 ④河川水質検査の実施	①浄水場元出し水 通常0.8mg/l以下 ②末端給水栓水 通常0.1mg/l以上 ③配水量の120%程度 ④発生泥土の650m <sup>3</sup> 程度を改良土等、処理処分委託 ④検査回数	浄水管理センター

平成26年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		安全で安全に暮らせるまち					
環境保全項目		有害化学物質による汚染を未然に防止する					
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
1-3		ダイオキシン類の環境汚染調査(ダイオキシン類環境基準達成率)	有害化学物質による汚染を未然に防止する	有害物質による汚染の防止	年一回、一般環境大気4ヶ所、河川4ヶ所、土壌3ヶ所等について調査。	環境基準値達成。	生活環境課
1-3		鉛給水管布設替え	有害化学物質による汚染を未然に防止する	鉛給水管の解消	鉛給水管布設替 計画修繕対応 420件 故障修繕対応 80件 水道本管工事対応 件 計 500件		上水道課

環境基本計画基本目標		自然・いきもの・人が共生するまち					
環境保全項目		森や里山を守り・親しむ					
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
2-1		造林事業	森や里山を守り・親しむ	森林の育成・保全を図る	○森林の多面的機能や公益性を維持するため、継続的な間伐等の整備を行う。	○私有林間伐200haの実施	森林整備課
2-1		松くい虫防除対策事業	森や里山を守り・親しむ	松くい虫被害を防除し、健全な松林を育てる	○松くい虫被害の拡大を抑制するため、被害木の被害木の全量伐倒駆除の実施	○被害木7,060㎡の伐倒薬剤処理	森林整備課
2-1		樹種転換事業	森や里山を守り・親しむ	樹種転換により、松林の保全を図る。	○アカマツ林を全て伐採し広葉樹に植え替えることにより、松くい虫被害の拡大を抑制を	○被害木10haの樹種転換の実施	森林整備課
2-1		農業用水路の多自然型水路整備箇所	自然・生き物・人が共生するまち	農業用水路において、環境に配慮した工法を推進します。	地元への啓発活動	地元からの要望を受け、順次整備を図る	土地改良課
2-1		公園の建設	緑あふれるまちをつくる	公園の整備を促進する。	①-1 上田城跡公園バリアフリー化工事 園路舗装 L=400m ①-2 上田城跡公園バリアフリー化工事 園路舗装 L=300m ② 市民緑地広場整備工事	旧上田地域の一人当たり都市公園面積を13.29㎡/人とする。	公園緑地課
2-1		全市一斉アレチウリ駆除の実施	森や里山を守り・親しむ	持続可能な森林・里山の保全・整備	全市一斉アレチウリ駆除の実施	全市一斉アレチウリ駆除日の実施	生活環境課
2-1		地域青少年育成指導者養成講座	子ども向けのレクリエーションや野外体験活動などの指導者を養成する。	ネイチャーゲーム、野外活動全般の講習会等を年5回以上開催する。	登山講習、登山、安全講習、キャンプ技術講習、スノーシューで山歩きの各講座を開催する。	自然体験活動全般の講習会等を年5回以上開催する	生涯学習課

平成26年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		自然・いきもの・人が共生するまち					
環境保全項目		水辺環境を守り・親しむ					
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
2-2		河川愛護活動 (河川愛護団体数)	水辺環境を守り・親しむ	持続可能な水環境の保全	河川愛護活動の実施	河川活動をした団体数 52団体	生活環境課
2-2		水生生物調査及び支援	水辺環境を守り・親しむ	持続可能な水環境の保全	水生生物調査及び支援	30箇所を実施。	生活環境課
2-2		多自然河川整備状況	自然・生き物・人が共生するまち	ホタル水路の環境整備を図るとともに、啓発活動に努める。	地元との協働により、市役所ロビーにおいて、啓発ポスターを掲示。	ホタル水路に係る啓発活動	土地改良課

環境基本計画基本目標		自然・いきもの・人が共生するまち					
環境保全項目		農環境を守り・親しむ					
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
2-3		認定農業者 (担い手)の確保	農地の保全・活用	担い手の確保により農地の保全・活用を図る。	担い手農家となる認定農業者の更新と、新規認定の促進	認定農業者数合計 25年度目標 合計240経営体	農政課
2-3		荒廃農地の再活用	農地の保全・活用	農地の保全・活用を図る。	農地の再生利用の促進	補助金交付により再生が実施される面積 25年度目標 10ha	農政課
2-3		担い手への農地の利用集積による優良農地の確保	農地の保全・活用	農地の保全・活用を図る。	担い手農家への農地の利用集積の促進	農用地流動化促進奨励金対象面積 25年度目標 80ha	農政課
2-3		農業法人(担い手)の確保	農地の保全・活用	担い手となる農業法人の確保により農地の保全・活用を図る。	新たな法人の設立への支援	集落営農組織の法人化の検討 2件	農政課
2-3		遊休荒廃農地の解消等による優良農地の確保	農地の保全・活用	農地の保全・活用を図る (数値目標平成25年度遊休荒廃農地解消面積10ha)	・遊休荒廃農地の解消 ・利用状況調査の実施 ・新規発生分の意向調査実施 ・遊休荒廃農地解消補助金等の制度の広報(農業委員会だより)	・補助事業等を活用した遊休荒廃農地の解消 ⇒25年度解消目標面積10ha	農業委員会事務局

平成26年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち					
環境保全項目		循環型社会の形成に努める					
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
3-1		生ごみ堆肥化事業	循環型社会の形成に努める	廃棄物の減量・リサイクルの推進	1 生ごみ堆肥化モデル事業 2 ごみ減量化機器等購入費補助事業	1 モデル事業における生ごみ処理量の拡大 2 ごみ減量化機器利用者の増加 3 1人当たりのごみ排出量の減少	廃棄物対策課
3-1		市民協働による環境にやさしい地域の創造	循環型社会の形成に努める・環境にやさしい人をはぐくむ	資源循環型社会の形成に向けた意識の高揚	1 エコ・ハウスの運営 2 ごみ減量アドバイザーの活動	1 エコ・ハウス来館者数 2,000人以上 2 エコストアの現状把握	廃棄物対策課
3-1		財務会計事務の改善	循環型社会の形成に努める	財務会計事務の向上による紙使用量の削減を図る。	①各種研修会の開催 ②適正帳票率の向上 ③支払伝票の削減	・適正帳票率・・・96.0%	会計課

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち					
環境保全項目		地球温暖化防止活動を推進する					
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
3-2		職員の管理に関すること	エコオフィスの推進	ノー残業デー、19(育児)の日、クールビズの普及促進によるエコオフィスの推進	・ノー残業デー(水曜日) ・19(育児)の日(毎月19日) ・クールビズ(5月14日～10月31日)	・実施状況の把握	人材開発課
3-2		電子申請の利用拡大	エコオフィスの推進	市民からの申請業務及び内部業務での利用拡大	各課業務調査の実施及び啓発	電子申請業務数 39業務	広報情報
3-2		庁舎管理	地球温暖化対策	地球を守る	・電気量の削減 ・燃料使用量の削減 ・コピーの使用枚数の削減	・前年度の使用量より削減	公有財産管理課
3-2		印刷物の見直し	印刷物の数量、印刷内容の見直しによる環境負荷の低減	印刷物の発注に当っては、常に仕様内容を検討する。	・各種印刷物の作成	・発注数量(概ね1年間の必要量を発注する) ・紙面の有効活用(利用者に分かりやすい紙面への工夫を図る)	市民課
3-2		上田市関係機関からの温室効果ガス総排出量の削減	地球温暖化防止活動を推進する	エコオフィスうえだの推進	・「第三次上田市役所地球温暖化防止実行計画」の推進を図る。 ・長野県に「温室効果ガス排出抑制計画」を提出し、推進を図る。	全庁舎の温室効果ガス総排出量	生活環境課

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち					
環境保全項目		地球温暖化防止活動を推進する					
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
3-2		公共施設・公共用地等を利用した再生可能エネルギー活用事業の検討	地球温暖化防止活動を推進する	公共施設の地球温暖化対策の推進	・公共施設・公共用地等を利用した再生可能エネルギー活用事業の検討	全庁的な取組体制により、公共施設・公共用地等を利用した再生可能エネルギー活用事業の検討を進めます。	生活環境課
3-2		市の低公害車の導入促進	地球温暖化防止活動を推進する	公共施設の地球温暖化対策の推進	市の低公害車の導入促進を図る。	エコオフィス上田の推進を図る中で、低公害車の導入促進を図る。	生活環境課
3-2		太陽光発電、太陽熱利用普及促進補助	地球温暖化防止活動を推進する	自然エネルギー・省エネルギーの普及	太陽光発電、太陽熱利用普及促進補助	(1) 太陽光発電システム設置費補助 500件 (2) 太陽熱高度利用システム設置費補助 20件	生活環境課
3-2		一般家庭及び民間企業の太陽光発電設備最大出力	地球温暖化防止活動を推進する	新エネルギービジョンの推進	太陽光発電、太陽熱利用普及促進補助	(1) 太陽光発電システム設置費補助 500件 (2) 太陽熱高度利用システム設置費補助 20件 (3) 民間企業への太陽光発電システム設置費補助	生活環境課
3-2		環境家計簿の配布	地球温暖化防止活動を推進する	家庭版ISOの普及を推進します	広報等へ募集掲載 環境家計簿の配布・回収・評価	うえだエコ隊参加(環境家計簿回収)家庭数 5世帯	生活環境課
3-2		うえだ環境フェア(消費生活展)の開催	地球温暖化防止活動を推進する	家庭版ISOの普及を推進します	うえだ環境フェアの開催 10月19日(土)	①来場者数 1,000人 ②アンケートによる来場者満足度 90%以上	生活環境課
3-2		LED防犯灯設置基数補助	地球温暖化防止活動を推進する	自然エネルギー・省エネルギーの普及	LED防犯灯の新設補助及び防犯灯のLED交換補助	新設 180基 交換2,890基	生活環境課
3-2		市営住宅の管理	①環境負荷の低減(口座振替の推進、入居者への環境啓発)	事務事業の効率化と環境啓発	①全入居者通知の機会(年2回)に口座振替利用の奨励と環境啓発文を掲載	口座振替率 87.00%以上	住宅課

平成26年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち					
環境保全項目		地球温暖化防止活動を推進する					
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
3-2		国民健康保険、高齢者医療保険、国民年金の各事業全般にわたる事務事業	エコオフィスの徹底による環境への配慮	節電、コピー用紙、紙ごみの削減	コピー用紙の削減化 ・裏紙、2in1コピーの活用 ・リサイクルの徹底による可燃ごみ排出の抑制	25年度のコピー枚数目標 108,000枚 (23・24年度平均値×99%)	国保年金課
3-2		太陽光発電設備の設置	新エネルギー事業の推進及び環境教育の推進	公共施設における太陽光発電の導入を促進し、併せて環境意識の啓発を図る	保育施設の改築建替えに伴う太陽光発電設備設置を検討する	神科第一保育園建替事業の実施設計において、具体的な設置計画を盛り込む。	保育課
3-2		「新技術等開発事業」助成金	廃棄物の減量と資源再利用の促進 エネルギーの有効利用	環境にやさしい「新技術等の開発」を行った業者に対し応援します。	事業者への補助事業制度の周知を事業所訪問で行う。	事業所訪問で説明20件 (制度の主旨・目的)	商工課
3-2		エコオフィスの推進	温室効果ガス排出の抑制	コピー用紙の節減・可燃ごみの減量・エコドライブの推進	コピー用紙の節減、可燃ごみ減量及びエコドライブの推進	コピー用紙の使用枚数が、前年度を下回るよう徹底する。 可燃ごみ減量及びエコドライブについて、意識啓発を進める。	雇用促進室
3-2		池波正太郎真田太平記館の管理運営	①利用者への環境啓発 ②エコオフィスの推進(一人当たりの電気・水道量等の削減)	電気等の節減と入館者数の増加(環境啓発とエコオフィスの推進)	①環境啓発に関するポスター等の掲示 ②入館者増加により、一人当たりの光熱水費の抑制 ③光熱水費の節減(節電の徹底、施設内の適正な温度管理) ④来館者向け環境啓発の具体的取組み検討	①②入館者数年間3万人以上。 一人当たりの電力量5kwh以下。	池波正太郎真田太平記館
3-2		小中学校改築事業	地球温暖化防止活動の推進	環境にやさしい学校づくり	小中学校への太陽光発電システムの導入について検討	学校改築事業にあわせて、新たな太陽光発電システムの導入について検討する。	教育総務課
3-2		給食業務の環境への取り組み	食品廃棄物の抑制と再利用	環境にやさしく、安全で安心なおいしい給食づくり	①食品残渣減少の取り組み(残菜調査、学校訪問、児童・保護者へのPR) ②食品残渣の飼料としての利用 ③地元農産物の使用 ④BDF燃料の使用量	①② 食品残渣の発生量 ③ 地元産農産物の使用量 ④ BDF燃料の使用量	第二学校給食センター



環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち					
環境保全項目		地域資源を有効利用する					
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
3-3		雨水貯留槽補助	地域資源を有効利用する	雨水貯留施設に関する補助や情報提供を進めます。	雨水貯留施設設置費補助	38件	生活環境課
3-3		施設建設事業	資源を活かした公共工事を推進する。	建設工事にあたり、環境に配慮した計画・設計及び工事施工に努める。	1 計画・設計における環境配慮 2 工事施工における環境配慮	別紙様式G 1 のとおり	建築課

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすまち					
環境保全項目		歴史・文化を未来に引き継ぐ					
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
4-1		文化財の保存・整備	指定文化財の保存・整備に努めるとともに指定文化財の増加に努める。	文化財の調査・指定・保存・活用・後継者育成	指定文化財及び歴史的建造物の国の文化財原簿への登録の推進	文化財及び歴史的建造物の国の文化財原簿への2件以上の登録	文化振興課
4-1		文化財の保存・整備	指定文化財の保存・整備に努めるとともに指定文化財の増加に努める。	文化財の調査・指定・保存・活用・後継者育成	指定文化財及び歴史的建造物の国の文化財原簿への登録の推進	文化財及び歴史的建造物の国の文化財原簿への2件以上の登録	文化振興課
4-1		博物館の運営	歴史・文化を未来に引き継ぐ	歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出	①博物館講座ほか左記のとおり ②観覧券・しおり・ポスター・チラシ等の作成に際して古紙配合紙・大豆油インクを使用する。	①来館者数 ②冊子を除く印刷物に古紙配合紙・大豆油インクを使用する(100%)	博物館
4-1		博物館の運営	歴史・文化を未来に引き継ぐ	歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出	①茶道教室ほか左記のとおり ②しおり・チラシ等の作成に際して古紙配合紙・大豆油インクを使用する。	①来館者数 ②冊子を除く印刷物に古紙配合紙・大豆油インクを使用する(100%)	武石ともしび博物館
4-1		記念館の運営	歴史・文化を未来に引き継ぐ	歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出	①美術教室ほか左記のとおり ②しおり・チラシ等の作成に際して古紙配合紙・大豆油インクを使用する。	①来館者数 ②冊子を除く印刷物に古紙配合紙・大豆油インクを使用する(100%)	山本鼎記念館
4-1		信濃国分寺資料館の運営	歴史・文化を未来に引き継ぐ	①歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出 ②環境にやさしい施設運営(リサイクルを推進し廃棄物の減量を図る)	①史跡見学会ほか左記のとおり ②公園の剪定された樹木のチップ化、落ち葉の腐葉土化など	①来館者数 ②リサイクル率100%	信濃国分寺資料館

平成26年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすまち					
環境保全項目		緑あふれるまちをつくる					
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
4-2		花と緑のまちづくり推進事業の実施(1)	緑あふれるまちをつくる	緑化の推進	・花の種銀行 口座開設者数 771人 ① ・種から育てる花づくり講習会の開催3回 ②③④	・花の種銀行会員数(延べ口座開設者 775人) ・花づくり講習会 開催回数 年間3回	公園緑地課
4-2		花と緑のまちづくり推進事業の実施(2)	緑あふれるまちをつくる	緑化の推進	・花苗配布 135,000本 ①②	・地域自治会等に配布する花苗本数(135,000本)	公園緑地課
4-2		緑地の保全(築屋台グリーンベルト保全事業)	緑あふれるまちをつくる	緑地の保全	里山整備ボランティア 年6回	市街地近郊の貴重な自然環境を形成している築屋台グリーンベルトを環境保全(地球温暖化防止、ヒートアイランド現象の緩和)の面から積極的に保全を必要があることから、上記事業を実施し、市民の理解を深める。	公園緑地課

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすまち					
環境保全項目		調和のとれた美しい景観を保つ					
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
4-3		ごみゼロ運動の参加人数	調和のとれた美しい景観を保つ	地域美化活動を推進します	・広報への掲載 ・ゴミゼロ運動の実施(県下一斉に年1回)…地区別に4回に分けて実施する	参加者人数 10,000人	生活環境課
4-3		放置自転車の撤去及び処分	環境にやさしい都市基盤・都市施設の整備	上田駅周辺の放置禁止区域における自転車等の駐車をなくします。	放置禁止区域における警告書の貼付	放置自転車撤去件数 年400台以下	管理課
4-3		景観形成事業	緑あふれるまちをつくる	街路樹植樹事業	街路樹の植樹予定なし	街路樹の整備が望まれる路線立上げの検討	都市計画課

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすまち					
環境保全項目		調和のとれた美しい景観を保つ					
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
4-3		まちなかレンタサイクル事業	さわやかな空気と静けさを確保する	自転車を貸し出し、自動車に頼らない市街地移動を推進する	上田駅周辺の放置自転車を整備して貸し出す。 貸出し可能自転車：常時15台	利用者数：2,500人	都市計画課
4-3		景観形成事業	調和のとれた美しい景観を保つ	生垣設置の補助を行い、緑化の推進を図ります	・広報うえだ、行政チャンネル等でのPR ・補助件数15件(予定)	・補助金を出した生垣の延長(本年度延長150m)	都市計画課
4-3		景観形成事業	調和のとれた美しい景観を保つ	景観づくり市民団体等の認定	景観づくり市民団体及びアダプトシステム協定締結団体等の検討	景観づくり市民団体数、及びアダプトシステム協定箇所数(各1)	都市計画課
4-3		景観形成事業	調和のとれた美しい景観を保つ	景観づくり協定の締結を推進し、優れた街なみの形成を図ります。	景観づくり協定締結に向け地区の検討	認定数(1)	都市計画課
4-3		景観形成事業	調和のとれた美しい景観を保つ	市民・事業者に対する景観づくりの意識啓発をします。	景観ウォッチングの実施	景観ウォッチングの実施回数(2回)	都市計画課

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち					
環境保全項目		環境にやさしい人を育む					
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
5-1		地域福祉の調整及び推進に関すること	環境教育の推進	地域内の住民や各種団体に向けた環境啓発等の推進	①毎水曜日のリサイクル回収(ビン・缶)時での啓発。 ②地域協議会における地域(環境)課題に対する対応。 「わがまち魅力アップ応援事業」の受付 ③自治会要望の取りまとめと本庁との調整(環境関連) ④窓口での転入者等へのゴミ回収等の指導	①リサイクル回収の回数 ②環境活動や啓発の数等	川西地域自治センター
5-1		環境にやさしい保育園づくり	環境教育の推進	保育園での環境教育・環境活動を推進し、環境に対する意識啓発を図る	「ぼっくん」を使い、生ごみを土に還す事を環境教育として推進する。	搬出生ごみの減量 堆肥として菜園等での利用 園児・保護者が興味を示すこと	保育課
5-1		水環境保全事業	水環境の保全	水環境の保全に関する意識の啓発を図る。	団体等への支援①②	・菅平地区における油流出事故の防止を図る。 ・うえた環境フェアに出展し、水環境保全の啓発を行う。	経営管理課
5-1		環境にやさしい学校づくり事業	環境にやさしい人を育む	学校での環境教育・環境学習活動を推進します	・光熱水費削減の取り組み結果を評価し、環境教育の推進に資するための予算を各学校へ追加配当する。	・光熱水費の削減量 ・学校ISO計画を全小中学校で作成し、実行する	学校教育課
5-1		学童農園事業	環境にやさしい人を育む	学校での環境教育・環境学習活動を推進します	・児童による田植えは、協力者、地方事務所の指導による手植え。 ・夏場はあぜ等の草取りを中心に田の管理を行う。 ・収穫は手刈りで行い、はぜにかけ天日乾燥する。 ・脱穀、わらまき等も児童が主となって行う。	・上田地域小学校(16校)の5年生 1,183人 ・平成25年度の耕作面積 15,880㎡ (保全農地面積)	学校教育課
5-1		Y A ッ H O ー の発行	環境問題などについて掲載し、子どもや親の意識啓発	環境記事・情報を年1回以上掲載する。	記事・情報として、環境問題などについて掲載し、子どもや親への意識啓発の機会とする。	環境記事・情報を年1回以上掲載する。	生涯学習課
5-1		地域青少年育成指導者養成講座	地域における環境保全活動及び住民への環境啓発の推進	市民の環境に関する意識の啓発を図っていく。	1 環境教室の実施 ・旬の野菜を使った料理教室(年12回) ・自然に親しむ講習会(年4回) ・太郎山自然観察会(年2回) ・エネルギービジョン講座(年4回) 2 団体等への支援	・すぐに効果は期待できないが、住民の環境に対する意識を高める。	西部公民館

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち					
環境保全項目		環境にやさしい人を育む					
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
5-1		公民館各種講座事務	環境教育の推進	自然観察をテーマとする講座を開催し、市民の環境問題に対する意識の啓発を図る。	自然観察をテーマとした講座の開設：4講座 「公民館だより」を中心に参加者を募集 その他環境関係に関する講座の開催	開催講座数を増やす。 参加者の意識の向上を図る。	城南公民館・解放会館
5-1		公民館各種講座事務	環境教育の推進	環境問題に関する講座を開設し、市民の環境に関する意識の啓発を図ります	自然観察講座4回、野鳥観察講座2回、水生生物観察講座1回、工作教室3回、暮らしイキイキ講座4回	青少年・成人教育で環境に関する講座を開催し、環境に対する意識を高める 目標講座数 13講座 参加者数 200人	上野が丘公民館
5-1		公民館各種講座事業	環境教育の推進	環境教育の推進を図り、市民の環境に対する意識の啓発を図る。	1 住民環境啓発 2 講座実施 ①里山を中心としたふるさとづくり講座 ②川西花 いっばい倶楽部 ③川西こども広場 ④親子自然観察会	成人・青少年教育に関する講座を通して、自然保全、自然とのふれあいを中心に環境に対する意識向上を図る。 ・成人教育 15回 ・青少年教育 4回 公民館花壇等の整備を通じて自然とのふれあいと地域の環境保全に対する意識を向上する。	川西公民館
5-1		環境負荷低減の啓発事業	環境教育の推進	啓発活動を通じて環境保全の理解を深める。	6月の環境月間にあわせ小中学校向けに本の紹介、テーマ本展示コーナーに環境関係の本を展示し、市民に啓発する。11月の図書館まつりでは本のリサイクル市などを行い、本の有効利用を図る。		上田図書館
5-1		文化芸術振興事業	チラシ・パンフレット印刷に伴う環境配慮	市民の環境に対する意識の啓発	文化芸術振興事業に関するチラシ・パンフレット等印刷物に環境に対する啓発の文言を加える。	チラシ・パンフレット等印刷物に啓発文言の記載	文化振興課
5-1		各種大会時のごみ減量の啓発	ごみ減量の促進	ごみ減量の啓発	各種大会等	各種大会時ごみ減量の啓発	スポーツ推進課

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち					
環境保全項目		環境にやさしい地域を育む					
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
5-2		自治会関連事務	環境にやさしいまちづくり	自治会定期送達の各課個別配布は、極力広報うえだに掲載し、各戸配布を回覧にするよう指導する。また、必要回覧数と配布数を常に把握、周知徹底することによる無駄の排除。	1 月2回の庁内への周知徹底 2 配布数、回覧数の変更報告受付 3 配布数、回覧数の庁内周知徹底	◆ 無駄を排除した、適正回覧数・配布数の的確な把握と周知徹底の実施	市民参加・協働推進課
5-2		まちづくり活動拠点施設整備	環境にやさしい地域をはぐくむ	地域全体での積極的な環境保全を推進するためのまちづくり活動拠点施設を設置し、市民・地域のパートナーシップなどさまざまな地域社会の連携体制を整備する。	・今年度事業予定なし	・現行のまちづくり活動拠点施設数 4箇所	市民参加・協働推進課
5-2		地域環境保全活動の推進	自然環境の保全と地域産業との調和	塩田地域における環境啓発の推進	主に自治会単位ごとに環境保全活動を実施。地区自治会連合会等諸団体や行政と連携して活動を推進。	物的効果がすぐに現れることは、取り組む事業により異なるが、市民の意識が環境保全活動に向くことが目標。	塩田地域自治センター
5-2		うえだ環境市民会議主催の駅前清掃の支援	環境にやさしい地域をはぐくむ	うえだ環境市民会議を開催し、市民、事業者、行政とのパートナーシップにより環境改善活動を推進します	うえだ環境市民会議主催の駅前清掃の支援	駅前清掃の支援 3回	生活環境課
5-2		「国際規格審査登録事業」助成金	環境にやさしい地域を育む	ISO1400等をはじめとする国際規格の取得に要した経費を助成することで、市内事業者の環境意識の向上を醸成する。	補助制度によりISO1400S等の国際規格の取得を支援する。	補助制度の利用実績	商工課
5-2		天然記念物の保護	天然記念物の保護及び生息地の環境保全に努める	天然記念物の保護パトロールの実施及び生息地の環境保全に対する啓発	天然記念物の保護パトロールの実施及び生息地の環境保全に対する啓発	・天然記念物の増加 マダラヤンマ・ミヤマモンキチョウ ミヤマシロチョウ・ベニヒカゲ等 ・食草であるクロマメノキの保護	文化振興課

平成26年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち					
環境保全項目		環境活動を発信する					
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
5-3		庁用汎用封筒に係る封筒印刷業務	環境活動を発信する	環境関連情報を発信し、グリーン購入の推進と啓発を図る	会計課印刷による市役所使用封筒に、「再生紙使用」と、「チャレンジ25」のロゴを入れ、市職員の意識の啓発を図ると同時に、上田市の取り組みを広く市民にアピールする。	各種封筒等の必要印刷枚数を一定の指標とする。	会計課
独		各監査、審査及び検査の実施	環境に配慮した事務事業の改善	監査等の際に事務事業の改善を指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 例月現金出納検査(毎月)</li> <li>・ 定期財務監査(5月～10月)</li> <li>・ 決算審査、財政健全化判断比率等の審査(4月～8月)</li> <li>・ 行政監査(10月～2月)</li> <li>・ 財政援助団等監査(9月～2月)</li> </ul>		監査委員事務局
○			環境啓発の実施	環境啓発の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 広報うえだを活用した環境啓発活動</li> <li>② 市公式HPを活用した環境啓発活動</li> <li>③ 行政チャンネルを活用した環境啓発活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 啓発記事のページ数</li> <li>② 環境関連記事へのアクセス数</li> <li>③ 環境啓発関係の番組数</li> </ul>	広報情報
2-1, 2-2		自然活動体験教室事業	川遊びやキャンプを通じて、身近な自然とのふれあい	自然体験活動事業を年4回実施する	千曲川、菅平高原等での川遊び、野外体験活動を通じて市民に身近な自然とのふれあいを体験してもらう	自然活動体験事業を年4回開催する	生涯学習課



環境基本計画基本目標		安全で安全に暮らせるまち					
環境保全項目		さわやかな空気と静けさを確保する					
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課

環境基本計画基本目標		安全で安全に暮らせるまち					
環境保全項目		きれいな水と安全な土壌を確保する					
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
1-2		合併処理浄化槽設置整備事業	きれいな水と安全な土壌を確保する	公共下水道・農業集落排水の整備区域外において、合併処理浄化槽の設置を促進する。	申請に対する補助金の交付	合併処理浄化槽設置整備事業での設置2基	丸子市民生活課
1-2		排水設備の普及促進	きれいな水と安全な土壌を確保する	下水道の早期接続	・下水道の早期接続の戸別訪問 ・郵送による普及促進活動	・新規接続戸数 60戸 ・水洗化率 89.6%	丸子上下水道課
1-2		漏水調査	水資源の有効活用	有収率の向上	漏水調査 地区別漏水の委託調査 重点地区の漏水調査	本年度有収率70%台へ上げる	丸子上下水道課
1-2		浄水場運転管理	安心、安全な水道水の提供	環境に配慮した浄水場管理	①浄水場、施設における消毒剤の適正な注入 ②河川水質検査の実施	①浄水場元出し水 通常0.8mg/l以下 末端給水栓水 通常0.1mg/l以上 ②検査回数	丸子上下水道課
1-2		上水道事業、公共下水道事業、農業集落排水事業	きれいな水と環境保全を確保	上水道事業、公共下水道事業、農業集落排水事業を推進する	○処理場の整備 ①菅平浄化センター改築更新 ②農集処理場の維持管理	○処理場の整備 ①菅平浄化センター処理水・排水・用水各ポンプ更新設計委託 ②農集処理場の維持管理	真田上下水道課
1-2		老朽管布設替	水資源の有効活用	有収率の向上	老朽管布設替	推定漏水量	真田上下水道課
1-2		排水設備の普及促進	水質の保全	下水道の早期接続	未接続者全戸へ電話での早期接続案内の実施 パンフレットの送付	未接続への電話度に集計	武石上下水道課

環境基本計画基本目標		安全で安全に暮らせるまち					
環境保全項目		有害化学物質による汚染を未然に防止する					
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課

環境基本計画基本目標		自然・いきもの・人が共生するまち					
環境保全項目		森や里山を守り・親しむ					
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課

環境基本計画基本目標		自然・いきもの・人が共生するまち					
環境保全項目		水辺環境を守り・親しむ					
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
2-2		① 多自然型水路整備	1 自然・生き物・人が共生するまち	① 農業用用水路において、環境に配慮した工法を推進します。	① 多自然型水路を1ヶ所整備する。	① 実績数値による。	丸子産業観光課
2-2		天然素材利用農道・水路整備	環境に配慮した農道・水路の整備、災害復旧工事	農道、農業用用水路において、環境に配慮した天然素材を利用する工法を推進します。	自然環境や動植物に負荷の少ない間伐材や自然石を利用した農道・水路を整備する。 また、間伐材などを積極的に活用し、循環型社会の形成のため利用促進を進めま	農道・水路整備における天然素材（自然石、間伐材等）を利用を5箇所以上採用する。	真田産業観光課
2-2		① 多自然型水路整備	1 自然の保全・活用	① 農業用用水路において、環境に配慮した工法を推進します。	① 多自然型水路を一箇所整備する。	① 多自然型水路を一箇所整備する。	武石産業観光課

環境基本計画基本目標		自然・いきもの・人が共生するまち					
環境保全項目		農環境を守り・親しむ					
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
2-3		担い手への農地の利用集積による優良農地の確保	農地の保全・活用	農地の保全・活用を図る。 (数値目標 平成25年度 8ha)	担い手農家への農地の利用集積の促進	農用地流動化促進奨励金対象面積 24年度末 5.7ha →25年度目標 8ha	真田産業観光課

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち					
環境保全項目		循環型社会の形成に努める					
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
3-1		丸子地域消費生活展の開催	循環型社会の形成に努める。環境にやさしい地域をはぐくむ。	各種団体と協力して、廃棄物の減量と資源再利用の促進に努める。	丸子地域消費生活展の開催(委託) 11月9日(土)開催予定	来場者予定数 600人 アンケートによる来場者満足度 90%以上	丸子市民生活課
3-1		ごみ減量化機器等購入費補助事業	循環型社会の形成に努める	ごみ減量化機器等に関する補助や情報提供を進める。	ごみ減量化機器等の購入に対する補助金交付	補助金交付件数 60件	丸子市民生活課
3-1		資源物回収用具収納施設設置費補助事業	循環型社会の形成に努める	資源物回収用具設置に関する補助や情報提供を進める。	資源物回収用具収納施設設置に対する自治会への補助金交付	補助金交付件数 1件	丸子市民生活課
3-1		給食の調理	循環型社会の形成	①調理くずの削減、②残食量の削減、③汚泥発生の抑制	①調理くず発生量を減らす ②残食量を減らす ③適切な排水処理により汚泥発生を抑制する	①日常の取組 実施 ②残食量 3500kg ③汚泥発生量 0kg	丸子学校給食センター

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち					
環境保全項目		地球温暖化防止活動を推進する					
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
3-2		グリーン購入の実施	地域資源を活かし地球にやさしいまちづくりを行う	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、グリーン購入率を高めます。	物品調達におけるグリーン購入の推進	物品調達におけるグリーン購入率を66%以上とする	丸子地域振興課
3-2		消費電力量の削減	地球温暖化防止のための温室効果ガス排出の削減を図る	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、温室効果ガス排出削減を進めます。	庁舎の電力消費量削減	前年度実績の12%減(291,379kwh)	丸子地域振興課
3-2		丸子地域自治センター関連施設の可燃ごみ削減	地球温暖化防止のための温室効果ガス排出の削減を図る	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、温室効果ガス排出削減を進めます。	丸子地域自治センター関連施設の可燃ごみ削減	前年度実績の0.5%減(31,014kg)	丸子地域振興課
3-2		集中管理車のガソリン及び軽油の使用量の削減	二酸化炭素の排出を抑制し地球温暖化の防止	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、ガソリン及び軽油の使用量の削減を目指します。	集中管理車11台のガソリン及び軽油の使用量の削減	一昨年度実績の±0.0%	丸子地域振興課
3-2		防犯灯修繕(LED化)補助事業	地球温暖化防止活動を推進する	地域内の全防犯灯を平成23年度から5年計画でLED照明へ交換する。	申請に対する補助金の交付	防犯灯のLED照明への交換(470基/2,355基)	丸子市民生活課
3-2		新エネルギー活用施設(太陽光発電・太陽熱利用施設)施設補助事業	地球温暖化防止活動を推進する	新エネルギー・省エネルギーに関する補助や情報提供を進める。	新エネルギー活用施設に対する補助金交付	補助金交付件数 120件	丸子市民生活課

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち					
環境保全項目		地球温暖化防止活動を推進する					
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
3-2		市民生活課所有車の燃料使用の抑制	市民生活課における地球温暖化防止活動の推進	地域資源を活かし地球にやさしいまちづくり	市民生活課が所有する全庁用車12台のガソリン、軽油使用量の削減(平成22年度、住宅部門単独で設定した事業を、昨年度から課全体に拡大)	・ガソリン(10台分)使用量・・・昨年度から1%削減 上半期1,169ℓ 年度末2,675ℓ ・軽油車(2台分)使用量・・・昨年度から1%削減 上半期846ℓ 年度末2,187ℓ	丸子市民生活課
3-2		環境保全事業	地球温暖化防止活動を推進する	ISO14001などの事業者に対する環境マネジメントシステムに関して情報を提供し、事業者を支援する。	工業3団体への説明会の実施。 団体会員への取得支援の情報を年2回以上情報提供する。		丸子産業観光課
3-2		給食計画及び献立作成/物資の購入/給食の調理及び配送	循環型社会の形成/農環境を守り・親しむ/地球温暖化防止活動の推進	①地元食材の利用、②食品残渣の再生利用、③廃食油の再生利用、④バイオディーゼル燃料(BDF)の使用	地元食材の利用を促進する ②食品残渣のたい肥化等再生利用を図る ③廃食油のBDF化を促進する ④配送車燃料にBDF使用を促進する	①地元食材使用割合 45% ②再生利用の取組 実施 ③廃食油BDF化率 100% ④BDF使用量 230ℓ	丸子学校給食センター
3-2		丸子文化会館施設管理運営事業	良好な環境と循環の仕組みに支えられたまち	各種事業時、車両乗り合わせによる参加の呼びかけを実施します。<事業周知時における呼びかけ>	・住民環境啓発		丸子地域教育事務所
3-2		移動図書館車の運行	地球資源を活かし地球にやさしいまち	あおぞら号の利用冊数の向上を図る。	移動図書館車の運行(丸子・武石地域、年間約153日運行)	貸出冊数 21,000 冊	丸子図書館
3-2		事務事業全般	ゴミ、コピー用紙、光熱水量の削減等による環境配慮	ゴミ、コピー用紙、光熱水量の削減		25年度 コピー枚数 電気使用量 水道使用量 灯油使用量	武石診療所
3-2		省エネに努めるエコ対策	職員、指導員及び通所利用者の環境負荷の軽減に向けた意識の変革	施設内の環境整備に努め、節電、節水、燃料の削減に努める。		ガソリン トータル4,000ℓ 月平均333ℓ 軽油 トータル3,300ℓ 月平均275ℓ 石油 トータル4,400ℓ 月平均366ℓ 電気 トータル26,500Kw	社会就労センター武石事業所

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち					
環境保全項目		地域資源を有効利用する					
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
3-3		雨水貯留施設設置補助事業	地域資源を有効利用する	雨水貯留施設に関する補助や情報提供を進める。	雨水貯留施設に対する補助金交付	補助金交付件数 12件	丸子市民生活課

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすまち					
環境保全項目		歴史・文化を未来に引き継ぐ					
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすまち					
環境保全項目		緑あふれるまちをつくる					
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
4-2		花いっぱい運動参加者の増加	緑あふれるまちをつくる	住民参加により地域内の道路沿線等の緑化を図る	1 住民参加のための施策検討 2 住民参加による緑化 3 住民環境啓発	②新規団体受付、植栽場所検討 ③住民による花苗植栽 3,000人 ⑥コンクールへの参加 ⑦球根植栽団体 ⑧講習会への参加	丸子建設課
4-2		住民参加による花壇管理	緑あふれるまちをつくる	市民が丸子ベルパーク内の花壇を管理することで、市民主導による地域内の緑化推進を浸透させる。	1 ボランティアによる花壇管理	ボランティア参加者 200人	丸子建設課
4-2		武石地域全域公園化構想による地域づくり	緑あふれるまちをつくる	桜木の植栽、維持管理を押し進め、美しい空間を守り育て、環境保全を図る	緑の景観づくりを目指す。	桜並木 樹（オオヤマザクラ 40本） テング巢罹病対策 ソメイ ヨシノ（枝打ち 60本）	武石建設課

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすまち					
環境保全項目		調和のとれた美しい景観を保つ					
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
4-3		犬猫の糞尿害対策	調和のとれた美しい景観を保つ	犬猫の糞尿害に対する対策を推進する。	犬猫の正しい飼育方法の周知 自治会による周知や看板設置の協力依頼 (随時)	苦情件数 10件以下	丸子市民生活課
4-3		上田市ポイ捨ての防止等に関する条例に基づく環境美化活動の推進	調和のとれた美しい景観を保つ	ポイ捨て等防止条例に基づき環境美化活動を推進する。	環境美化監視員によるパトロール	パトロール回数 11ヶ月×4班×3回=132回 (5～3月)	丸子市民生活課
4-3		ゴミゼロ運動の実施	調和のとれた美しい景観を保つ	地域の環境美化活動を推進する	ゴミゼロ運動の実施(県下一斉に年1回) 丸子地域は自治会ごとに随時実施 ポイ捨て・不法投棄等の収集	参加人数 5,000人	丸子市民生活課
4-3		河川パトロール・清掃の実施	調和のとれた美しい景観を保つ	地域の環境美化活動を推進する	河川パトロール及び河川清掃(依田川・内村川・塩川沢・矢ノ沢) 年2回	河川パトロール・清掃実施(春・秋の年2回、参加6団体)	丸子市民生活課
4-3		アレチウリ、ブタクサ駆除	自然保全・活用	真田地域全域でアレチウリ、ブタクサ駆除活動を推進します。	アレチウリ、ブタクサ駆除の実施	地域内の河川、公共道路の一斉駆除 私有地の所有者への駆除指導	真田市民生活課
4-3		道路建設工事(歩道設置)	人にやさしいまちづくり	歩道設置を推進します	・歩道新設 L=425m (今年度の事業であるが普及での施工となるため、歩道完成は来年度となる。) ・繰越事業 歩道新設 11月完成予定	・早期発注に努め、環境に配慮しつつ安全に工事を施工する。	真田建設課

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち					
環境保全項目		環境にやさしい人を育む					
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
5-1		隣保館事業の実施	環境にやさしい人をはぐくむ	住民の環境に対する意識の啓発を図る。	①隣保館事業参加者に対する環境啓発 ②「花を楽しむ会」で館周辺の花壇の花植えと寄植えを行う。 ③エコ料理教室を開催する。 省エネ等エコ生活への呼びかけをし、イベントを通じ市民への環境啓発を図る。	①隣保館事業の開催数 90回 ②参加者数 20人 ③教室参加者数 10人	丸子市民生活課
5-1		環境負荷低減の啓発事業	環境教育の推進	環境教育の推進	・6月の環境月間に、展示コーナーに環境関係の本とパネル(環境保全協会から借用)を展示し、市民に啓発する。 ・11月頃本のリサイクル市を行い、除籍になった本の有効利用を図る。	・分野ごとに展示するなど見易さ、借り易さの工夫をする。 ・リサイクル図書の入替えを行わないと所の活用を図る。	丸子図書館
5-1		レンタサイクル推進事業	自動車からレンタサイクルに乗り換え二酸化炭素を減量する。	レンタサイクル利用でエコな観光施設巡りを体験し、環境負荷軽減に貢献しよう。	ゆきむら夢工房を拠点に、レンタサイクルで観光施設を巡る。	レンタサイクルの利用実績 平成25年度 延べ800台	真田産業観光課
5-1		各種講座	地域における環境保全活動の推進	各種主催イベントの際に車相乗り参加の呼びかけ	公民館学級開催、各種大会開催の際の保全活動	各種主催イベントにおける、参加者募集時にチラシ、有線放送を利用し、参加の際の車相乗りの呼びかけ	真田地域教育事務所
5-1		環境負荷低減の啓発事業	環境教育の推進	啓発活動を通じて環境保全の理解を深める。	・6月の環境月間にあわせ1階、2階コミュニティスペースに環境関係の本を展示し、市民に啓発する。 ・12月の図書館祭りでは、本のリサイクル市を行い、本の有効利用を図る。		真田図書館

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち					
環境保全項目		環境にやさしい地域を育む					
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
5-2		わがまち魅力アップ応援事業	地域全体の環境保全に対する意識の高揚	上田市の環境目標「自然・生き物・人が共生するまち」を実現するため、自治会や市民団体が行う環境保全活動等を支援・協力します。	わがまち魅力アップ応援事業の実施	実施団体目標 9団体	丸子地域振興課

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち					
環境保全項目		環境活動を発信する					
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	担当課
5-3		丸子地域自治センターだよりの発行	地域全体の環境保全に対する意識の高揚	上田市の環境目標「環境を思いやる人があふれるまち」を実現するため、自治センターだよりに環境保全に関する情報を掲載し啓発を行います。	丸子地域自治センターだよりの発行 ※環境保全に関する情報を掲載する。	各号に環境情報を掲載(計6回)	丸子地域振興課